



きっずる一むだより

第 64 号
令和 8 年 3 月 10 日発行
社会福祉法人ゆうゆう
きっずる一む県庁別館



厳しい寒さもやっと終わりが近づいてきたようです。

まだまだ朝夕は冷え込みますが、

お昼はポカポカ陽気で子どもたちは元気に室内や外で遊んでいます。

春になるのが待ち遠しいです。



耳の大切さ

3月3日は、「3(み)」が続くことから「耳の日」です。耳は音を聴くだけでなく、実は、身体の平衡感覚を保つための大切な器官でもあります。身体が傾いたときに耳の中のリンパ液が動いて脳に情報がいき、手足を使って自然とバランスを取っています。耳は小さな器官ですが音を聞き取る以外にも大切な働きをしています。

耳の穴は皮膚が薄く、無理矢理に掃除をするとすぐに傷がつきやすく、外耳炎になる可能性があります。耳には耳垢を自然に外へ出そうとする働きがあるので、自然に耳の入口に出てきます。傷つけないように、掃除のし過ぎは気をつけ、優しく掃除を試みてください。



春分の日



春分の日とは、国民の祝日の一つで、1948年に法律で制定されました。「自然をたたえ、生物をいつくしむ。」ことを目的とした日です。

日付は決まっておらず、大体3月20日か3月21日のどちらか1日になります。

2026年の春分の日は、3月20日です。

この日は、昼と夜がほぼ同じ長さになって、次の日から昼の時間が少しずつ長くなっていきます。春分の日から3日前から7日間を「春の彼岸」、春分の日は「彼岸の中日」といいます。周りの環境にも感謝しながら、じっくりと自然に目を向けて、春を探してみてください。

きっずる一むでも子ども達と小さな春を探し中です。

こどもの様子

きっずる一むでは、月曜日から金曜日たくさんの子どもが過ごします。

そんな中、子ども同士で自然と仲良くなり遊ぶことがあります。

ある日外で芝生のある所で遊んでいると、Aちゃん(2歳0カ月)とB君(2歳3ヶ月)が

おもちゃのトラックに芝生を順番に一生懸命入れていました。

少しこぼれてしまった時には2人で「あ〜あ〜」と言っていました。

1歳児は友だちの存在を意識し、

同じおもちゃを使い一緒に遊ぶことを楽しめるようになる時期でもあります。

今後もそんな子ども同士の関わりを大切に、一緒に遊んでいる時には見守っていきます。



保護者の皆さまには日々のご理解と温かなご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

1年前を振り返ると、様々な思い出が思い出されます。

子ども達のたくさんの笑顔や成長を近くで見れ、

保護者の皆様と共有することができとても嬉しく感じています。

来年度もよろしくお願ひ致します。